



佐高

スーパー グローバル ハイスクール

SGH通信 2018

No. 3 (平成30年5月11日発行)

Welcome to Sano High School !

Hamilton Girls' High School from NZ

2018年4月25日(水) ニュージーランドのHamilton Girls' High School (HGHS) から「サニックスワールドラグビーユース交流大会2018」に参加するラグビーチームの皆さんが本校を訪れました。HGHSはラグビーの強豪校であり、過去にもその大会で優勝を経験しているチームです。大会は福岡県宗像市で開催されますが、直前合宿を栃木県で行い本校生と合同練習を実施することができました。本校ではまず歓迎式を行いました。校長先生の Welcome Speech の後、HGHS の校長先生やキャプテンが本校の訪問受け入れに対して感謝の意を述べてくれました。オープニングセレモニーの後は、体育、数学、英語、情報の授業に参加しました。福岡県での大会の活躍を祈っています。



赤羽浩 校長先生



HGHS の Marie Gordon 校長先生



ラグビーチームキャプテン



生徒会長・歓迎会司会 3年4組 町田祐汰

ハミルトンの生徒はとてもフレンドリーで、多くの関わりを持つことができた。オープニングセレモニーでは、NZの特別な歌を聴いたり、佐野高校の校歌を歌うなど、文化的な交流ができた。ランチタイムには、英語でラグビーについて話すなど、本場の英語を肌で感じる事ができ、短い時間だったが、グローバルリーダーを目指す上で、とても有意義な時間となった。



ラグビー部 高校男子部長 3年3組 神谷颯斗

レベルの高いハミルトンガールズの選手たちとともにラグビーをすることで自分たちでは今まで見つけられなかった課題やプレーに気づくことができた。言語や国が違って「ラグビー」という一つのスポーツを通じ、彼女たちとコミュニケーションをとりともにラグビーをして素晴らしい時間を過ごせた。この経験を糧にこれからの日々の練習を充実させていきたい。



ラグビー部 高校女子部長 3年3組 川島早紀子

世界トップレベルの選手たちと2日間一緒に練習をして、とても多くのことを学ぶことができた。練習以外の時間には、写真を撮ったり会話をし、絆を深めることができてとても嬉しかった。ニュージーランドと日本、遠く離れた地でも楯円球を持てば世界共通だと分かったので、一歩でも近づけるように、切磋琢磨して日々の練習に励みたい。

ラグビー部 中学部長 3年1組 田崎和寛

実際に外国の人と会って会話をするのは初めてだったが、授業で習ったことを生かして英語で話すことができた。とても貴重な経験になった。



ラグビー部 中学副部長 3年3組 江部青飛

選手の皆さんに会って、言葉は違ったがラグビーを通して明るい雰囲気楽しく交流することができた。これもラグビーというスポーツの素晴らしいところだなと思った。



生徒歓迎の挨拶 3年2組 渡邊望愛

今回私は、歓迎のあいさつをした。英語でのスピーチということでとても緊張したが、ハミルトンガールズハイスクールの皆さんが笑顔で耳を傾けてくれたので、しっかりスピーチをすることができ、とても良い経験となった。



佐野市と学校の紹介 2年4組 大畠明久、杉江悟

今回の HGHS の学校訪問では、生徒を代表して佐野市紹介と佐野高校の学校紹介をした。うまくできたと思った反面、英語力などの改善点が見つかったので次にこのような機会があれば今回のことを生かしてより良いものにしたい。また、ハミルトンの方と話をしているとき、発音の違いなどからうまく聞き取れないことがあったので、そのようなことにも対応できるようにしたい。

